

2021年6月1日
DRONE FUND

DRONE FUND、設立5年目をむかえ、投資先が48社へ ～ドローン前提社会の実現に向けて～

世界でも稀なドローン・エアモビリティ特化型ベンチャーキャピタルであるDRONE FUND(本社：東京都渋谷区、代表：千葉 功太郎、大前 創希、以下：ドローンファンド)は、本日2021年6月1日をもって設立から4周年を迎え、5年目の活動を開始いたしました。



【5年目にあたり、DRONE FUNDが目指す世界像】

ドローンファンドは、2021年6月1日で、設立から4周年を迎えました。ドローンファンドはドローン・エアモビリティ前提社会の実現を目指すため、国内外のスタートアップへの投資活動を積極的に行ってきました。この4年のあいだに48社への投資を実行し、数多くのLP投資家の皆さまにもご参画いただき、2017年6月に設立した1号ファンドは15.9億円で、2018年8月に設立した2号ファンドは52億円で、それぞれ資金調達を完了いたしました。また、2020年5月に設立された3号ファンドは目標調達額を100億円としており、2021年3月時点で約50億円まで資金調達を完了しております。

ドローンやエアモビリティをはじめとする空のテクノロジーは、国土・インフラの保全、産業活動

の効率化と発展、そして私たちの日々の暮らしを支えるソリューションとして、大きな注目を集めてまいりました。特に今日では、デジタル政策やグリーン政策の重点化や、全国でのスマートシティに関する機運の高まりも、その大きな追い風となっております。

次世代通信規格5Gをはじめとする通信インフラの徹底活用などを通じて、フィールド業務の自動化やリモート化などの産業活動のDX(デジタルトランスフォーメーション)が可能となります。ドローンファンドは5年目の活動におきましても、ドローン・エアモビリティの社会実装に寄与するテクノロジー、ソリューションへの投資を展開してまいります。

*

【創業者 / 代表パートナー 千葉 功太郎のコメント】

ドローンファンドは、設立4周年を迎えることとなりました。日頃からご支援頂いております皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

ドローンファンドの5年目の活動を迎えるにあたり、来年度にはレベル4(有人地帯におけるドローンの目視外飛行)の実現が控えております。私自身、自家用操縦士免許の取得以降、日常的に空路を使用するようになり、改めて空の利便性を確信いたしました。多くの皆様がまだ触れていない、地上での想像を遥かに超える「便利さ」が、空にはあります。その便利さを誰もが使える、日常生活の当たり前となる未来社会が、「ドローン・エアモビリティ前提社会」です。

我々の思い描く未来予想図は決して夢物語ではないと強く感じております。ドローン・エアモビリティ産業のさらなる躍進のために、支援活動を続けて参ります。



【共同創業者 / 代表パートナー 大前 創希のコメント】

ドローンファンドが5年目の始動を迎えられることを大変嬉しく思います。ひとえに皆様からの多大なご支援のおかげでございます。深く御礼申し上げます。

ドローンファンドは現在3号ファンドまで設立されており、国内外45社以上のスタートアップへの投資を実行してまいりました。4年間のうちに投資対象範囲が拡大しており、空飛ぶモビリティだけでなく、水中ドローンや水上ドローンなどもポートフォリオに組み込んできました。

狭義のドローンだけではなく、「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現を成しうる「陸・海・空・水中」の技術や、通信を始めとした関連技術への投資と支援を行っていくのが、これからのドローンファンドの使命であると考えております。

5年目も引き続き、投資活動のみならず、市場の拡大や投資先の事業機会の創出に関しても幅広く支援して参ります。引き続き皆様からのご支援を賜れますと幸いです。



【最後に】

ドローンファンドは、引き続き3号ファンドのファイナルクローズに向けた資金調達と並行しながら、「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現にむけた活動を、投資先のスタートアップおよびLP投資家と共に加速してまいります。

今後ともよろしくご支援申し上げます。

*

■千葉 功太郎 プロフィール

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、リクルートに入社。2009年コロプラに参画し、取締役副社長に就任。2012年東証マザーズIPO、2014年東証一部上場後、2016年7月退任。インターネット領域等のスタートアップ60社以上、VC40ファンド以上に投資するエンジェル投資家。DRONE FUND、千葉道場ファンドの代表を務め、2019年4月より慶應義塾大学SFC招聘教授も兼任。ホンダジェットの国内顧客第1号であり、自らも航空機パイロットの免許(自家用操縦士 Private Pilot License)を取得。

- ・ DRONE FUND 創業者 / 代表パートナー
- ・ 千葉道場ファンド ジェネラルパートナー
- ・ 慶應義塾大学SFC特別招聘教授
- ・ 航空機パイロット(自家用操縦士)

■大前 創希 プロフィール

2002年、Web/ITコンサルティングの(株)クリエイティブホープを創業(現会長)。2014年よりドローングラフィアとして活動し、2017年よりDRONE FUNDに参画。ビジネス・ブレイクスルー大学 / 大学院の教授職も務める(専門はデジタルマーケティング)。

- ・ DRONE FUND 共同創業者 / 代表パートナー
- ・ ビジネス・ブレイクスルー大学/大学院 教授
- ・ (株)クリエイティブホープ代表取締役会長
- ・ Dronegrapher®

■ドローンファンド 概要

ドローンファンドは、ドローン関連のスタートアップに特化したベンチャーキャピタルとして、2017年6月に設立されました。現在、3号ファンドまで設立されており、「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現をテーマに投資活動を展開しております。

- ・ 略名称: DRONE FUND (ドローンファンド)
- ・ 正式名称: 千葉道場ドローン部 1号投資事業有限責任組合、千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合、DRONE FUND 3号投資事業有限責任組合
- ・ 運営会社: DRONE FUND株式会社
- ・ 代表者: 千葉功太郎、大前創希
- ・ 所在地: 東京都渋谷区恵比寿 3-3-6 滝澤ビル 3F
- ・ 設立: 2017年6月(1号)、2018年8月(2号)、2020年5月(3号)
- ・ 事業内容: ドローン・エアモビリティ関連への投資及び協業支援
- ・ ウェブサイト: <http://dronefund.vc>

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

DRONE FUND 広報担当: pr@dronefund.vc